



# 誤解せる種痘

醫學博士 瀨川昌著

神戸及び神奈川縣に於ける天然痘の流行は勢ひ益々猖獗であるが、今日の如く交通頻繁では如何なる機會に此病毒が傳染するか知れない、元來天然痘其物は最も恐るべき傳染病なれど之は充分豫防策の行はれるもので即ち種痘さへ厲行すれば少しも驚くべき事はない、併し天然痘流行期に於ける種痘に關しては種々疑問の起るもの故左に瀨川醫學博士の説明を記し參考に供するのである。

▲極端なる小兒と大人の種痘 小兒の種痘には親々が非常に氣を揉んで春秋二季に之を厲行しやうと云ふ意氣組みのお方さへ見えますが、之に反して大人になると種痘は一向無頓着で、分けても老人などには天然痘は感染せぬかの様に思つて居る

ものさへあるやうです、小兒と大人との種痘に於ける感想は全然兩極端に傾いて居るが之を醫師に言はせたら、何うか双方の中和を得るやうにしたいのです。

▲免疫性の小兒 小兒でも大人でも一回種痘して夫れが種さましたら先づ四五年間は免疫になりすから天然痘の病毒に感染する憂ひも無く安心して居られます併し種痘を施しても全く種かない小兒もあるのでは體質が既に免疫性になつて居るからです、尤も斯ういふ體質の小兒は少數なものです、併し生後第一回目の種痘で斯くの如く一類も不感ぬものでも程經て更に再び種痘すると善感ますやうな場合も、夫れ故初めて種痘した小兒は假令不感ぬからとて之は免疫性の體質だと一概に認める事は出来ませんから分けても天然痘流行の際などには再び種痘する方が安全であります

▲親々の誤解せし種痘 處が春季に種痘した小兒で善感たのにも係らず又秋季になつて種痘して貰ひたいとお連れになる親達がありますから『あなたのお兒さんは春に種痘して良くついたので御座

ませんか、四五年は別に御心配はありませんよ」と申上ると親達は不審な面色をして『全く差支へはないものでせうか』と何となく安からぬやうに見えます、併し一度種痘して善感ば即ち是れ免疫の證據で重ねて種ゑる必要なき事と心得て置かれたい。

▲一度天然痘に罹りし人 本所區業平町で發生した天然痘患者も之れは種痘を施さない小兒であつたと云ふ事だが目下東京にも流行の兆ある矢先さ必ず種痘を勵行するやうにされたい、扱一度天然痘を患んだものは最早全く免疫になり假令天然痘が流行しても再び胃される患ひなしと安心が出来るかと云ふに之れも亦全然安心する譯にもならぬ、随分天然痘に罹つた患者であり乍ら再び之れに胃されたものもない譯でなく稍もすると事實になり易い事を記憶されたいのです、故に此際尤も安全を圖るには一回天然痘に罹つたものでも矢張り種痘をされる事をお勧めするのです。

▲妊婦の種痘 懐妊して居る御婦人などは種痘して可からうか或は種痘した、め胎兒に何か故障で

も出来てお産の緒を解くと苦惱でもありはせぬかと種々に氣を揉むものもあるけれど之れは醫説として妊婦は種痘を施して差支へ無いばかりでなく、或る一説には胎兒までも免疫になると云ふ程ですから、決して迂論に思はず此際進んで種痘をするやうに御注意申すのです。

▲小兒の種痘 一体種痘をするに生後間もなき所謂初生兒であつたらばと懸念する親々もあるやうですが尤も熟練なる醫師に能く、小兒の身軀健康の點を診断して貫ひ、差支へなく種痘する方がよいのです、併し流行時でなければ成可く生後百日位からがよいけれど流行時期には開な事を云て居れない。

▲種痘前後の注意 種痘をする時は前日入浴して身体を清潔にし襦衣も清潔な洗ひ清めたるものをつけて居るやうにする事を忘れてはならぬ、近來の種痘法は昔の如く突いて種ゑるのでなく切種するのですから善感ぬと云ふやうな事は殆んどないのです、爾うして種痘後五六日目から少しく發熱シソコへ水痘が出来て夫れが大きくなると膿疱に變じ

ます、十三四日目位から膿疱が乾いて来て黒くなつて結痂します。痂の落ちるのは大抵廿日過ぎて跡へ白い癩痕を残すが今も申す通り近來は切種です。膿疱の際掻き崩したがるので困る、代つて種痘したら其のところを殺菌ガーゼで糊帯して置くやうにすれば掻き崩す憂ひもなく兼て又悪い微菌などの侵す憂ひもないので、種痘したら入浴は成可く避けるやうに併し殺菌ガーゼで糊帯した儘入浴するなら先づ差支へないけれど濡れたガーゼは直に取換へて遣らなければなりません、

### 笑ひ聲と品性

近頃の或雑誌に見えたことですが某醫士の調だと云ふものゝ中に小兒の笑ひ方で其性質を知ることが出来ること云ふことがありました。そして其判別の標準と云ふのは

ハ調を先にして笑ふ子供は淡泊で勇氣がある。  
ヒ調を先にして笑ふ子供は憂鬱或は偏屈であ

る。

ホ調を先にして笑ふものは臆病で斷決方に乏しいが併し深切である。

へ調で笑ふのは偽善家や悪人になるものだと言ふことです。

是は奇抜な議論で眞偽は頗る怪しいものですが併し幾分の眞理は其中にあらうと思ひます。何故と云ふに是等筋肉使用の習慣は其体育や平常の習練の結果でありますから従つて其人を察するには屈強の觀察點となる事が出来るだらうと思ひます例へばアハ、ハ、と言ふ笑ひは腹の底から打ちまけての發表で多少磊落な人、淡泊な人でなければ出来ない笑ひです。父母や教師は大に此種の研究をしてほしいものです。

